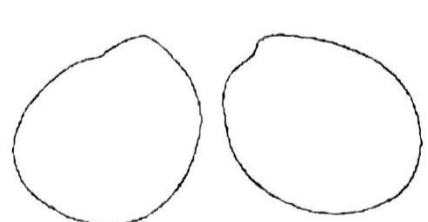


軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業医師意見書（千葉市）

氏名		男・女	年 月 日生（ 歳）																																																												
住所																																																															
障害の種類	・伝音性難聴 ・混合性難聴 ・感音性難聴		オーディオグラム 聴力検査 オーディオメーターの型式 _____ <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>500</td> <td>1000</td> <td>2000</td> <td>Hz</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>90</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td></td> </tr> </table> dB ※ <u>気導聴力をご記入ください。また、可能であれば、骨導聴力もご記入下さい。</u> （注1）聴力は、500・1,000・2,000周波数の音に対する聴力レベル値を、各々a・b・cとし、 $(a+2b+c)/4$ により算出してください。		500	1000	2000	Hz	0	-----	-----	-----		10	-----	-----	-----		20	-----	-----	-----		30	-----	-----	-----		40	-----	-----	-----		50	-----	-----	-----		60	-----	-----	-----		70	-----	-----	-----		80	-----	-----	-----		90	-----	-----	-----		100	-----	-----	-----	
	500	1000		2000	Hz																																																										
0	-----	-----		-----																																																											
10	-----	-----		-----																																																											
20	-----	-----		-----																																																											
30	-----	-----	-----																																																												
40	-----	-----	-----																																																												
50	-----	-----	-----																																																												
60	-----	-----	-----																																																												
70	-----	-----	-----																																																												
80	-----	-----	-----																																																												
90	-----	-----	-----																																																												
100	-----	-----	-----																																																												
聴力（注1）	右	dB																																																													
	左	dB																																																													
補聴器装用効果	右	有 ・ 無																																																													
	左	有 ・ 無																																																													
補聴器の種類（処方）	1. 補聴器の種類 耳かけ型・ポケット型 { 重度難聴用（右・左） { 高度難聴用（右・左） { 軽度・中等度難聴用（右・左） イヤモード（要・否）（右・左） 骨導式（ ） 受信機（ ） ワイヤレスマイク オーディオシュー その他（ ） 2. 現在までの補聴器装用の有無 右（有 ・ 無） 左（有 ・ 無） 3. 使用効果見込み																																																														
現在までの障害の状況（治療の内容、期間、経過）・意見をご記入下さい。 ※受信機・ワイヤレスマイク・オーディオシューを処方した場合にはその医学的理由についてご記入ください。		耳鼻疾患の有無及び障害の状況 																																																													
1 意見書の記載は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第59条第1項の規定による指定医療機関の医師及び千葉市療育センター内の療育相談所に置く診療室の医師に限る。 2 難聴児の補聴器の交付は、装用効果の高い側の耳に片側装用を原則とし、教育・生活上等真に必要なと認められた場合は両側装用とすることができる。 3 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく支給等を優先して受けるよう取り扱うこととする。																																																															
上記のとおり意見する。 年 月 日 所在地 医療機関名 医師氏名 _____ (※) (※) 本人が手書きしない場合は、記名押印してください。																																																															